



きずな

第33回総合開会式

昨年度は悪天候により、レクイメントはもちろん、入場行進もできなかった総合開会式。今年度も気温は低く、シャージ姿の選手も多くいましたが、4月30日の厚別公園競技場、さわやかな気候の中で無事に第33回の総合開会式を行うことができました。



札幌地区のチームに所属する1830名の選手が参加し、堂々とした行進を見せられました。また、スタンドからも多くの保護者やチーム関係者の方が声援を送っていました。

札幌地区のチームに所属する1830名の選手が参加し、堂々とした行進を見せられました。また、スタンドからも多くの保護者やチーム関係者の方が声援を送っていました。



札幌市サッカースポーツ少年団連盟の川口谷 正会長からは、サッカー選手としての心構えとして、周りの人たちへの感謝を忘れないこと、道具を大切にすること、「自分で汚したユニフォームのパンツは、



自分で洗おう！！」を教えていただきました。そして、会場に集まったサポーターや指導者にも「サッカー少年ファースト」の合言葉を授けていただきました。



選手宣誓は、常盤サッカースポーツ少年団の三島優真君です。全チームを代表し、サッカーへの努力、仲間との協力、そしてフェアプレーを誓ってくれました。支えてくれる人たちへの感謝が込められた素晴らしい宣誓でした。

昨年度は残念ながら中止になってしまった開会式後のレクリエーションも行うことができました。

まずはリフティング大会です。日頃の練習の成果を競うべく、各チームの代表者3名が集まり、ピッチに広がります。スタンドからは、チームメートへの熱い声援が聞こえてきます。1度でもボールを落としたら、そこで敗退。課題は段々と難しくなります。

今年度のお題

- ① フリー (2分間)
- ② インステップ (1分間)
- ③ もも
- ④ インサイド
- ⑤ ヘッド
- ⑥ アウトサイド



数名に絞られた中でのアウトサイドやヘディングでは、もう自分のチーム関係なく、素晴らしい



らしい技能に対して、歓声や拍手が起きました。ハイレベルな戦いを制し、優勝したのは LIV.football club の喜多晃平君です。おめでとう！



続いてはリレーです。400mのトラックを一人100mずつの4人でバトンをつなぎます。リーグ戦の同じブロックに入ったチームが戦います。スピードとチームワークの勝負です。



ブロック1位になると、タイムが発表され、全チームの中で最も速いチームが決定します。

優勝したのはコンサドーレ札幌 U-12 でした。おめでとう！



開会式終了後のスタンドでは、SSS の選手たちが、ごみ拾いをしてくれました。ありがとう！！



こうして、今年度の総合開会式が終わり、熱戦の幕あけとなりました。各大会が素晴らしいものになるよう、みんなで力を合わせましょう。